

地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	あずま とみひこ	
氏名	東 富彦	
所属・役職	-内閣官房 IT 総合戦略室 オープンデータ伝道師 -キアズマ 代表 -国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 主幹研究員（併任）	
活動拠点	福岡県福岡市 九州を中心に活動	
略歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 1983年4月 日本電気株式会社入社、企業情報システム研究開発に従事</li> <li>- 2010年4月 株式会社国際社会経済研究所へ出向、事業戦略コンサル業務に従事</li> <li>- 2014年2月 一般社団法人オープン・コーポレイツ・ジャパン創設、常務理事就任、オープンデータビジネスのコンサルティング業務に従事</li> <li>- 2015年4月 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター、主幹研究員就任</li> <li>- 2015年5月 日本電気株式会社を早期退職制度により退社</li> <li>- 2015年5月 株式会社パブリカ設立、代表取締役就任、オープンデータを活用した新規情報サービス事業を経営</li> <li>- 2016年9月 株式会社パブリカを退社</li> <li>- 2018年4月 公益財団法人九州先端科学技術研究所、BODIK 担当ディレクター、自治体オープンデータとデジタルトランスフォーメーションを推進。データの公開から利活用まで、一貫した業務プロセス改善を支援</li> <li>- 2021年3月 公益財団法人九州先端科学技術研究所を退所</li> <li>- 2021年4月 キアズマ設立、代表就任、「API 駆動型 DX」を中心とするデジタルトランスフォーメーションメソッドを提供</li> <li>- 2021年4月 大分県中津市、DX 推進監就任</li> </ul>	
地域情報化の専門分野・技術	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. スマートシティ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ API 駆動型 DX を中心としたデジタルトランスフォーメーションメソッド</li> <li>・ API プラットフォームの設計開発</li> <li>・ API を利用したアプリケーションの設計開発</li> </ul> </li> <li>2. オープンデータ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オープンデータカタログサイト</li> <li>・ オープンデータ API</li> <li>・ オープンデータ研修</li> </ul> </li> <li>3. 人材の育成・活用                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ DX 推進のための実践スキル研修</li> <li>・ データ収集・分析による EBPM</li> <li>・ 機械学習活用</li> <li>・ ノーコードツール活用</li> </ul> </li> </ol>	

自治体向け メッセージ	<p>これまで長年に渡ってオープンデータカタログサイトの無償提供や総務省オープンデータ研修プログラムの開発など、九州・山口地域を中心にオープンデータを推進してきました。近年はオープンデータを活用した自治体のデジタルトランスフォーメーションを推進する「BODIK DX」事業を立ち上げ、オープンデータ API プラットフォームの開発、福岡市「あんしん給食管理」の開発、データ利活用研修プログラム開催などを行ってきました。今後はこれらの経験をもとにして、「API 駆動型 DX」を中心に、ノーコードツールを活用して成功体験を積み上げ、現場の理解を徐々に広げていく段階的なデジタルトランスフォーメーションの推進を支援します。現場が主役となる実践的で無理のない DX をぜひ一緒に進めていきましょう。</p>
関連URL	<a href="https://kiazuma.net">https://kiazuma.net</a>

地域情報化 に関する実績	<p>これまでの経験業務・研究活動</p> <p>電気機器メーカーにて合計 32 年間、ソフトウェアの研究開発および事業戦略立案に携わり、高品質な企業向けソフトウェアの開発、海外企業など共同した新サービスの開発、データ活用ビジネスの企画提案などに貢献しました。また、非営利活動として政府や自治体のデータを公開し、民間で活用する「オープンデータ」の普及啓発に努め、日本政府への政策提言を行うとともに、オープンデータを活用した新サービスの実証実験を主体的に実施し、自らベンチャー 企業を立ち上げビジネス化まで行いました。その後、オープンデータを活用した自治体のデジタルトランスフォーメーションを推進する「BODIK DX」事業を立ち上げ、オープンデータ API プラットフォームの開発、総務省オープンデータ研修プログラムの開発、福岡市「あんしん給食管理」の開発、データ利活用研修プログラムの開発などを行いました。</p> <p>表彰実績：</p> <p>(1) オープンデータ 100</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あんしん給食管理（2020 年）</li> <li>・ BODIK DX（2020 年）</li> <li>・ BODIK オープンデータセンター（2019 年）</li> </ul> <p>(2) 一般社団法人オープン&amp;ビッグデータ活用・地方創生推進機構 勝手表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタルリスク協会賞、あんしん給食管理（2020 年）</li> <li>・ 東京大学オープンデータセンター (UTODC) 賞、BODIK オープンデータセンター（2017 年）</li> </ul> <p>出版実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『データ×アイデアで勝負する人々』（日経 BP 社、2014 年 10 月）</li> <li>『マーケティング DX 最新戦略』（共著、日経 BP 社、2020 年 11 月）</li> <li>『AI・IoT・データ活用総覧 2019-2020』（共著、日経 BP 社、2019 年 9 月）</li> <li>『AI・IoT・ビッグデータ総覧 2018-2019』（共著、日経 BP 社、2018 年 10 月）</li> <li>『AI・IoT・ビッグデータ総覧 2017-2018』（共著、日経 BP 社、2017 年 8 月）</li> <li>『ビッグデータ・IoT・AI 総覧 2016-2017』（共著、日経 BP、2016 年 8 月）</li> <li>『ビッグデータ・IoT 総覧 2015-2016』（共著、日経 BP、2015 年 8 月）</li> <li>『米国に学ぶオープンデータ戦略』（共著、日経 BP、2015 年 4 月）</li> <li>『ビッグデータ総覧 2014-2015』（共著、日経 BP、2014 年 6 月）</li> <li>『ビッグデータ総覧 2013』（共著、日経 BP、2013 年 7 月）</li> </ul>
-----------------	--

## これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト

(1) 自治体向けオープンデータカタログサイト開発

- ・約 130 自治体が利用中(無償提供)

(2) 自治体のオープンデータを標準化した API プラットフォーム開発

- ・2020 年 4 月から Rakuten Rapid API で公開中
- ・オープンデータの種類: 14 種類
- ・API コール数: 約 12 万、エラー率 0%
- ・自治体数: 365、ファイル数: 1,142、レコード数: 約 72 万

(3) 総務省オープンデータ研修を受託(2018 年度から 2020 年度)

- ・プログラム開発と主催を担当
- ・45 都道府県で開催、722 自治体から 1046 名参加

(4) 福岡市から「データアカデミー」を受託(2019 年度から 2020 年度)

- ・データ収集・分析・活用、機械学習のプログラム開発と講師を担当
- ・51 名が受講

(5) 福岡市、LINE Fukuoka と共同で「あんしん給食管理」サービスを開発

- ・小学校給食のアレルゲン問題を DX で解決する福岡市の公式サービス
- ・食物アレルギーをもつ児童のいる家庭の 100%が利用中